

# 会議結果報告書

平成28年11月24日

会議の名称	第1回 志木市総合教育会議
開催日時	平成28年11月24日(木) 14時～14時45分
開催場所	市役所2階 201会議室
出席委員	<総合教育会議メンバー> (※進行者) ※香川武文市長、尾崎健市教育長、神山邦明教育長職務代理 小島佐知子委員、田村成彦委員、八代豊委員 <p style="text-align: right;">(計 6人)</p>
欠席委員	なし <p style="text-align: right;">(計 0人)</p>
説明員職氏名	桜井政策推進課主査 <p style="text-align: right;">(計 1人)</p>
議題	1 開会 2 議題 志木市教育大綱の推進状況と今後の展開について 3 閉会
結果	・配布物の確認を行った。 ・開会前に傍聴希望者の有無について確認を行った。 →傍聴希望者有り(1名)  1 開会 (傍聴希望者入室)  2 議題 志木市教育大綱の推進状況と今後の展開について

→事務局から志木市教育大綱・志木っ子教育大綱の推進状況について説明し、教育長からそれらを契機に新たに始めた主な取組や今後の展開等について説明を行った。その後、意見交換を行った。

(志木市教育大綱・志木っ子教育大綱をうけての主な取組)

- ・宗岡小学校と宗岡第三小学校に、宗岡第二中学校の生徒が出向いてあいさつを行う小中連携のあいさつ運動を始めた。
- ・志木第三小学校では志木っ子教育大綱を正面玄関に掲示し、あいさつを今年度重点的に取り組むこととした。
- ・宗岡第二小学校では、水曜日の朝、児童が自ら校門に立ちあいさつ運動を行っている。
- ・11月21日に県内初の弁護士によるいじめ防止教室を開催した。
- ・11月のいじめ撲滅月間にあわせ、学校だよりで志木っ子教育大綱を題材に、いじめについて校長が呼びかけを行った。
- ・宗岡第二中学校区におけるコミュニティスクール設置の準備を開始した。
- ・志木第二小学校では地域支援本部事業の準備に入り、コーディネーターが2名配置された。
- ・市内小中学校全てに国旗の掲揚塔を設置した。

(今後の展開について)

- ・外国語教育やICT教育などに対応する学習指導要領の改訂。
- ・教職員の人材育成として、小中連携した市内一斉研究会の開催。
- ・宗岡第二中学校区においてコミュニティスクールを平成29年4月にスタートさせる。年内には、学校運営協議会の委員を選定。

(委員)

子どもたちの中に、志木っ子教育大綱がかなり浸透してきていると感じられる。

(教育長)

これまでも、全校で何らかの形であいさつ運動は行っているが、志木っ子教育大綱を契機に、あいさつをより重点的に取り組む学校が出てきた。あいさつは志木っ子教育大綱の原点でもあるので、しっかり身につけてもらいたい。

(委員)

いじめについて、弁護士がいじめ防止教室を行ったり、学校にスクールソーシャルワーカーがいたりするが、それ以外にも学校に関わりのある方との連携も図れるとよいと思う。

(委員)

小中学校だけでなく、幼稚園、保育園、家庭、地域などさまざまな場で周知していくとよいのではないか。

(委員)

家庭の中に浸透させるために、スマートフォンなども活用すると効果的であると思う。

(市長)

教育大綱を地域の方々にも広く周知していく場も設けていけたらと思う。

(市長)

コミュニティスクールは、宗岡第二中学校区のみなのか。

(教育長)

まずは宗二中校区で実施し、課題等を整理したうえで、今後市内全域で進めていきたい。

コミュニティスクールの学校運営協議会を設置することで、学校だけで抱えていた課題等に、今まで以上に地域の意見を反映することができ、また情報も共有できるようになる。

(委員)

保護者の関心もまちまちなので、もっと保護者の理解を得られるような機会を増やしてはどうか。

(教育長)

実施をしてからも、さらに理解を深めてもらえるよう努めていく。教育委員会としても、今後もPRを続けていく。

(委員)

宗小、宗三小、宗二中の各運営協議会の目指す特色が異なってしまってもよいのか。

(教育長)

個々に出したい特色があってもよい。ただし、どういう子どもに育てて行くかという最終的な部分は共通認識を持っていただく。将来的には小中一貫教育なども視野に入れて、4つの中学校区それぞれ

	<p>れで、学校運営協議会の設置を進めていきたい。</p> <p>3 閉会</p>
事務局職員	<p>相子企画部長、原田教育政策部長、 松永企画部参事兼政策推進課長、小日向教育総務課長、 桜井政策推進課主査</p>